

学校ナビゲーション

知っとこ☆上小

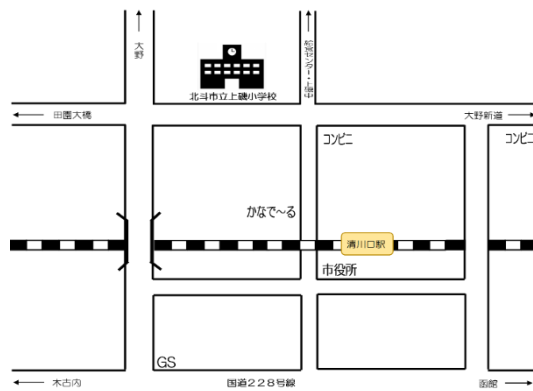


北斗市立上磯小学校

北斗市立上磯小学校の概要

北斗市は、渡島半島の南、函館市に隣接する田園都市です。北海道新幹線が開業し、北海道の玄関口としてますますの発展が期待されています。

上磯小学校はそんな北斗市のほぼ中央に位置し、市役所や市の文化センター「かなで〜る」、温水プール「かみんぐ」、総合体育館などの文化・体育施設が近隣にあります。



〈所在地〉

〒049-0156

北海道北斗市中野通200番地

TEL 0138-73-2062

FAX 0138-73-1405

〈学校 HP 等〉

U R L hokuto.ed.jp/kamisyo/

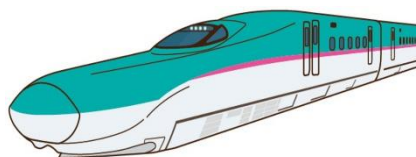
メー ル kamiiso@educet04.plala.or.jp

〈アクセス〉

道南いさりび鉄道 清川口駅下車 徒歩5分

JR 新函館北斗駅より車で約20分

函館市より車で約30分



〈児童数〉

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	全 校
男	24	34	37	28	25	38	186
女	21	36	27	32	31	27	174
計	45	70	64	60	56	65	360

〈校章及び校歌〉



上磯小学校 校歌

作詞 谷 園人
作曲 酒井武雄

久根別川の かたほとり
多くの友を 育てあげ
厳かに建つ 我が母校
無限の愛に 幾星霜
真理を求め 道拓き
上磯文化 培いぬ

学校の沿革

本校は、明治11年（1878年）に開校し、令和6年で146周年を迎えた歴史と伝統ある学校です。

上磯小学校のあゆみ

明治	11年	4月	公立戸川学校(字下町)有地学校(字飯生町)開校	10年	6月	開校120周年記念大運動会が行われる
	12年	4月	有川村・戸切地村が合併して上磯村ができる	7月		上磯漁港護岸壁面制作
		6月	戸川・有地両学校が統合して上磯学校となる	11年	1月	北海道公立学校教育課程実践研究成果が全文掲載
13年	3月	種田金十郎氏より板倉一機(60円)寄贈される	2月			渡島管内教育実践表彰受賞
15年	10月	七重派分校ができる(現在の派分小学校)	4月			せせらぎ学級ができる
16年	4月	公立上磯小学校と校名が変わる	11月			上磯町功労者表彰受賞
22年	1月	校舎を新築移転(現在の市役所隣)	12年	3月		コンピューター教室での学習が始まる
24年			4月			よきよき学級ができる
28年	4月	上磯尋常高等小学校と校名が変わる	13年	2月		北海道教育実践表彰受賞
		従来の簡易科を廃止し尋常高等両科となる	12月			第1回学校評議員会が開かれる
34年	4月	七重派分校が独立し尋常小学校となる	14年	2月		渡島小中学校校長会教育実践表彰特別賞受賞
35年		高等科の修業年限が4年にすることが許される	15年	4月		文部科学省学力向上フロンティアスクール研究指定
36年		種田徳之丞・徳平衡両氏により校舎敷地539坪寄贈される	11月			公開研究会・上磯教育研究集会在開かれる
41年		義務年限延長される 尋常科6年・高等科2年(学級数12学級)	16年	10月		東日本学校吹奏楽大会入賞
		本町に電灯がとる	17年	2月		渡島管内教育実践表彰受賞
			9月			上磯町と大野町が合併「北斗市」誕生
			東日本学校吹奏楽大会実行委員長賞受賞			
大正	42年		11月			公開研究会が開かれる
2年		函館・上磯間に鉄道が通る	20年	9月		開校130周年記念航空写真撮影
3年	4月	校舎の後方の水田(1149坪)を校地に編入	21年	10月		東日本学校吹奏楽大会入賞
7年	1月	町制施行 上磯町となる	22年	10月		渡島教育局研究指定校公開研究会が開かれる
	10月	開校40周年記念式典が行われる	23年	2月		吹奏楽部文部科学大臣奨励賞受賞
昭和	11年	8月	体育館新築(140坪)11,250円	3月		渡島教育実践表彰受賞
3年	10月	開校50周年記念式典が行われる	24年	10月		合唱部第79回NHK全国学校音楽コンクール優良賞受賞
4年	12月	校舎改築(705坪)6万円				吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会銀賞受賞
7年		上磯町に上水道設置・電話が一般家庭に広まる	25年	1月		はがきでコミュニケーション大会ふれあい学校賞受賞
15年	10月	二宮尊徳像除幕式(五十嵐竹次郎氏寄贈)	2月			合唱部こども音楽コンクール文部科学大臣奨励賞受賞
16年	4月	上磯国民学校と校名変更(初等科6年・高等科2年)	9月			合唱部北海道議会議場コンサート出演
22年	4月	上磯小学校と校名が変わる(高等科廃止・26学級)	10月			吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会金賞受賞
	10月	開校70周年記念式が行われる(校歌制定)	11月			小・中学校ジョイントプロジェクト公開研究会開催
24年	2月	給食が始まる	26年	8月		ロンドン五輪バドミントン代表 佐々木翔選手来校
29年	5月	学校図書館が開校される				校務用パソコン 設置
	9月	台風15号(洞爺丸台風)により体育館倒壊	12月			トイレが洋式化される
30年	9月	新体育館完成 約200坪 9,277,844円	27年	2月		合唱部・吹奏楽部 こども音楽コンクール全道代表
31年	4月	二代目二宮尊徳像が寄贈される(五十嵐竹次郎氏)	10月			吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会金賞受賞
		渡島教育研究集会在開かれる	12月			渡島読書感想文コンクール学校賞受賞
33年	7月	鼓笛隊が作られる	28年	2月		合唱部・吹奏楽部 こども音楽コンクール全道代表
	10月	開校80周年記念式が行われる				合唱部 重唱部門3位入賞
36年	5月	渡島教育研究集会在開かれる	7月			リオ五輪バドミントン代表 佐々木翔選手来校
38年	2月	第1回PTA研究会が開かれる	10月			吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会金賞受賞
39年	8月	音楽室にオルガンを備える	11月			ほっかいどう学力向上セミナーが開かれる
41年	4月	さざなみ学級ができる	29年	2月		吹奏楽部こども音楽コンクール文部科学大臣賞受賞
42年	3月	上磯小学校同窓会がつくられる				北海道教育委員会来道友教員が視察訪問される
43年	5月	十勝沖地震で壁や煙突に被害	10月			吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会3年連続金賞受賞
	6月	開校90周年記念式、記念研究大会が行われる	12月			心に響く道徳授業パイオリン奏者大平まゆみ氏来校
45年	11月	健康優良児日本一に坂口良子さんが選ばれる	30年	3月		1日・2日 連続2日間暴風雪による臨時休業
48年	2月	児童会旗ができる(五味軍次氏寄贈)	9月			昭振東部地震によるブラックアウト3日間臨時休業
		PTA広報誌「ありかわ」第1号発行	11月			全日本バンドフェスティバル金賞受賞
49年	10月	上磯小学校公開研究会が開かれる	31年	2月		心に響く道徳授業フルート奏者大島さゆり氏来校
51年	1月	交通安全功労賞受賞	令和	5月		1日に元号が「令和」に改正
	9月	北海道特別活動研究大会・上磯小研究会開催	5月			児童会考案緑の羽ズーシーホッケーピンバッチ贈与式
53年	1月	教育実践優良校で表彰を受ける	8月			タブレット型パソコン配置(児童用40台、教師用25台)
	6月	日時計が寄贈される(山村豊氏)	2年	2月		ソロ・アンサンブル全道 クラリネット七重奏金賞受賞
	6月	開校100周年記念式が行われる				渡島管内教育実践表彰受賞
	9月	100周年記念公開研究会が開かれる	3月			新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業
54年	8月	米飯給食が始まる				(2月27日～3月24日)
55年	9月	吹奏楽部ができる 新校舎建設開始	4月			新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業
56年	8月	トドの剥製が寄贈される(浜田一幸氏)				(4月20日～5月31日)
57年	4月	新校舎移転、授業開始	5月			分散登校 18日～29日
	8月	インドクジャク3羽とハツタン2羽寄贈される(齋藤忠夫氏)	10月			吹奏楽部 こども音楽コンクール 全道大会最優秀賞受賞
	9月	新校舎の周りにクロマツ約41本を植樹	11月			植樹 正面駐車場前 ソメイヨシノ3本
58年	2月	渡島管内教育実践表彰を受ける	11月			吹奏楽部 日本音楽会合奏コンテスト 全国大会最優秀賞受賞
	2月	渡島教育研究集会在開かれる	3年	2月		ソロ・アンサンブル全道 管打八重奏金賞受賞
	2月	新校舎落成記念式が行われる	3月			タブレット型パソコン配置(児童用401台、教師用31台)
	4月	グラウンド周りにクロマツ180本を植樹	8月			吹奏楽部北海道吹奏楽コンクール金賞受賞
62年	2月	渡島学校保健研究大会が開かれる	10月			吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会銀賞受賞
	11月	開校110周年記念集会在開かれる	11月			北海道家庭科教育研究大会(6-1授業公開)
平成	2年	7月	ベルマーク200万点突破	4年	8月	吹奏楽部北海道吹奏楽コンクール金賞受賞
		8月	池崎愛美さん全国少年少女リレー競技大会	10月		校務用パソコン入替(34台)
	8年	10月	上磯町教育研究集会在開かれる	11月		児童用机・椅子搬入(各80台)
	9年	4月	「総合的な学習の時間」(「そっこ学習」)研究開始	5年	8月	児童用机・椅子搬入(各334台)
				3月		吹奏楽部北海道吹奏楽コンクール金賞受賞
						校地内照明LED工事を完了

学校の教育目標とは…

「学校がどのような子どもを育てていくか」を示したものが、教育目標です。学校の教育目標は、国の教育施策のよりどころとなる教育基本法や学習指導要領、北海道や北斗市の教育目標に従い、児童の様子や、保護者や地域の願いを受けながら制定されています。

北斗市立上磯小学校
令和6年度 グランドデザイン
(学校改善プラン)

○北海道教育の基本理念
○北斗市教育大綱

北斗市立上磯小学校の教育目標

令和3年4月1日制定

Try! Try! やってみよう 努力しよう!!
～自分で自分から粘り強く挑戦する子ども～

○教育活動アソシエート
○学校関係者評価
○上磯中学校の教育目標
「考える生徒」
「心の豊かな生徒」
「根気よい生徒」
「健康な生徒」

誰一人とりおさない

ICT を活用した児童主体となる授業改善

インクルーシブ教育を核とする特別支援教育の充実

安心安全に根差す危機管理の徹底

教職員の心と身体を守る働き方改革の推進

4つの柱

学びに TRY する学校

誰一人取り残さない
授業改善の推進

学びに TRY する子

- ★めざせ！テスト 90 点以上
- ★自分から進んで課題に取り組み、友達と意見を出し合いながら考えを深め合おう
- ★自分の考えをしっかりと書き友達や先生に表現しよう

全教職員共通実践

『教師間で高め合う授業改善の実践
／一人一人の学びに寄り添った授業実践』

体づくりに TRY する学校

心身ともに健康を保ち、
生き生きと活動する学校

体づくりに TRY する子

- ★授業でたくさん体を動かし、できる運動を増やしていこう
- ★生活リズムを整え、運動することを楽しもう
- ★ゲームや動画を見る時間を減らし、ネット上のトラブルをなくそう

全教職員共通実践

『児童の健康状態、生活の様子の情報の共有』

心づくりに TRY する学校

明るい挨拶と笑顔が
あふれる学校

心づくりに TRY する子

- ★友達の良さや自分との違いを認め合う仲間づくりをしよう
- ★いつでも・どこでも・だれとでも場面に応じた挨拶ができるようになろう
- ★行事ごとにその目的をしっかりとらえ、自分から積極的に参加しよう

全教職員共通実践

『時と場に応じたあいさつの励行、言葉遣いの指導を徹底』

つながりに TRY する学校

児童・保護者、地域がともに
つくる持続的で魅力ある学校

つながりに TRY する子

- ★地域の人にたくさん教わり、
北斗市のことを好きになろう
- ★多様性を認め、みんなで一緒に学んでいこう
- ★お家の人や学校の先生、児童の皆さんが協力して、みんなが満足できるより良い学校をつくろう

全教職員共通実践

『児童・保護者の困り感に寄り添った対応と全教職員による見守り』

今年度重点課題： SDGs の推進, ICT 機器活用の充実, 防災教育, がん教育, 感染症対策, 「いじめ, 自殺, メディア依存症」抑止, 不登校や登校しづらい児童への支援, ワークバランスの推進

本校の特色ある教育

学校には、学習指導要領に示された内容をどの子にも等しく身に付けさせ、教育の機会均等を保証すると同時に、それぞれの地域や実態に合わせた特色ある教育活動を展開することが求められています。本校の特色は…。

① 授業の工夫や学びの機会の充実により、確かな学力の定着を図っています

学びの基本は授業です。本校では、授業の始まりにその時間の「めあて」を提示、授業の終わりに「まとめ」を必ず行うという統一した学習過程を全クラスで行っています。その時間に学習する内容をきちんと捉え、確実に理解するためです。また、ノートのとり方（書き方）も統一していて、その時間に学んだことや自分が考えたこと等がわかり、家庭学習で振り返ることができるようにしています。

また、地域と連携し、様々な体験を通した学習も積極的に実施しています。多様な学びの機会の充実を図り、子ども達一人一人の確かな学力の定着に取り組んでいます。

② 家庭学習の充実に取り組んでいます

全国学力・学習状況調査の結果から、本校では学力向上のために家庭学習の一層の充実も必要であることが明らかになりました。

特に本校では、「自分の考えを書くこと」や「文を要約して書くこと」など『書く』ということに課題があり、全校で日記に取り組んだり、高学年では決められた字数の中で考えをまとめたりする練習を行っています。さらに、その前段階である「読み取ること」にも力を入れています。

また、上磯中学校の校区内の学校で統一した学習習慣と生活習慣のスタンダード※1・2に則り、小学校の6年間だけではなく中学校の3年間も見通した指導を行っています。さらに、上磯中学校区の学校で年に数回「家庭学習パワーアップ期間※3」を設け、家庭学習の充実と習慣づけに取り組んでいます。

③ 算数でTT（チームティーチング）の教員を国語では専科の教員を配置しています

本校には、基礎基本を確実に身につけ、学力の向上を図る目的で算数にTT教員が配置されています。また高学年の国語の指導を専科の教員が行うことにより、より専門的で系統的な指導を受けられるようにしています。

④ 読書活動の推進

本校では図書館教育の充実とともに、読書活動を基盤とした言語活動の推進と本好き・読書好きな子どもの育成に取り組んでいます。読書週間での取り組みや、市のボランティアを活用した読み聞かせなどにも注力しています。

また、市の図書館とも連携し読書通帳なども活用しながら、本の貸し出し等が増えるような取り組みも進めています。

新学習習慣のスタンダード



☆それぞれの学年でしっかり定着できるよう、がんばりましょう。

	小学1・2年	小学3・4・5年	小学6年・中学1年	中学2・3年
じゅんぎょう	☆ 提出物や用具の『わすれもの』がないように、家庭学習後すぐに、次の日の準備（じゅんび）をする。 ・おうちの人にもかくにんしてもらおう！	・時間割やおたより、通信、メモなどをもとに自分で学習用具や提出物の準備をていねいにしよう！		
	☆ 次の授業（じゅぎょう）の準備（じゅんび）をしてから、休み時間にする。 ・はじまりの時こくの前にトイレや水のみをすませてせきにすわろう！	・はじまりの時こくになる前に、トイレ・水飲みを終え、席に着こう！ ・席に着いたら、教科書やノートに目を通しながら、はじまりを待とう！	・授業開始5分前に教室に入り、3分前には着席しよう。予習・復習をしながら静かにはじまりを待とう！ ・チャイムと同時にあいさつをすることができるようになろう。	
すわる	☆ 『ゲー！ ピタ！ ピン！』 ・「おなかとつくえ」「せなかといす」のあいだは、ゲー！ ・あしは、ゆかにピタ！ せなかは、のばしてピン！		☆ 正しい姿勢を保とう！ ・背すじを伸ばす！ ・足は組まずに、足裏は床に！	
あいさつ	☆ あいさつ → れい ・「きをつけ。〇時間目のペンきょうをはじめます。（おわります。）」 → 「おねがいします。（ありがとうございました。）」 ※せんせいもいっしょにあいさつをします！		☆ 起立 → 気をつけ → 礼 → 着席 ・「お願いします。（ありがとうございました。）」 ※先生も一緒に挨拶をします！ ※起立したときは、いすを机に入れよう！	
きくと	☆ はなす人をみて、きく。 ・手は、ペンきょうのときにはつくえの上に、それいがいでは、手はひざの上におこう！ ・話す人におへそを向けて、聞こう！	☆ 話の内容（ポイント）を考えながら聞く。 ・何を話しているかがわかるように、言葉に注意し、相手の目を見てじっくり聞こう！	☆ 自分の考え（同感・疑問・反論）を持ちながら聞く。 ・わかったときはうなずき、わからなときは、問いかけよう！	☆ 目的意識を持ちながら聞く。 ・知りたい情報を正確に捉えることができるように、メモをとるなどの工夫をしながら聞こう！
はなすとき	☆ 「～です。」「～ます。」をつけて、しっかりとのはなす。 ・なまえをよばれたときは、「はい」とへんじをしてから、はなそう！ ・きく人の方を向いて話そう！	☆ 「～です。」「～ます。」をつけて、相手に伝わるように話す。 ・場面にあった声の大きさや言葉づかいで話そう！ ・けつろんを先に話し、その後理由を話そう！	☆ 相手の立場に立って、ていねいに話す。 ・適切な敬語を使って話そう！ ・順序立てて、できるだけ簡潔に話そう！	☆ 聞き手の反応を確かめながら、状況に応じた話し方で話す。 ・聞いている人の反応を見て自分の話し方が適切かどうかを考えながら話そう！
かくとき	☆ 正しい姿勢（しせい）でかく。 ☆ えんぴつを正しくもち、文字の形に気をつけて、ていねいにかく。 ノートやプリントの書き方			
	・マスからはみださないようにていねいにかこう！	・字の大きさや見やすさ（すき間など）を考えながら書こう！	・できるだけ速くきれいに書こう！	・見やすく、振り返りをしやすい工夫をしよう！
よむとき	よむときのしせい	音読の仕方		
	☆ ただしいしせいでもよむ。 ・せなかをのばして、本はりょう手できちんとよもう！	☆ 話のまとまり（内容）を考えながら読む。 ・場面に応じた抑揚、速さを考えて読もう！	☆ 作品の意図（内容）を考えて読もう。 ・作品の特徴を生かした読み方をしよう！	☆ 自分の思いや考えを持ちながら読む。 ・自分なりに表現を工夫して読もう！
家庭学習	☆ つくえにむかう時刻（じこく）をきめて（「〇時から〇時まで勉強する」）、その時間はテレビ、ゲーム、携帯（スマホ）の電源（でんげん）を切る。 ☆ 宿題（しゅくだい）やノートなどの提出物（ていしゅつぶつ）は期日（きじつ）を守り、必ず出そう！			
	☆ 「かくねん×10ぶん+10ぶん」をしょうずにつかって！ 例）①しゅくだいに取り組む時間 ②その日の学習内容をノートでかくにんする時間 ③学習ノートなどに復習問題やわからない問題をする時間 ④次の学習内容の予習をする時間 ⑤読書の時間 など・・・。			☆ 学習時間90分以上で、充実した取組を！ ・計画を立てて取り組もう！！ ・着実に力がつくよう、効率的な学習をしよう！ ・「ながら」学習はやめよう！

生活習慣のスタンダード

	小1, 2年	小3, 4, 5年	小6年・中1年	中2, 3年
あいさつ	○しっている人にげんきよくあいさつする	○自分からすすんで元気にあいさつする 	○相手の目を見て、笑顔であいさつをする 中学生は「ていねいあいさつ」を心掛けて生活するようにする	○時と場に応じた態度であいさつや会釈をする
時刻	○とけいをみてじこくにまにあうようにことうどうする 	○5分前行動を大切に時間を考えて行動する	○日常生活の中で5分前行動が身につく時間を守った行動をする	○5分前行動を行事や校外活動でも生かす 
みだしなみ	○おうちの人におしえてもらいながら、みだしなみをきれいにし、もちものをきれいにしまう ○くつのかかとをふまないくつばこをたたくつかう 	○学校のきまりを良く守り、自分から進んで身だしなみを整え、派手すぎる服装は避ける	○相手の目を見て、体を向けて話を聞く	○集団の規律に従い、場面や状況に合わせて身だしなみを整える 
話を聞く	○先生がお話しているときは先生のほうをむき手はふとももにおく	○先生の話、友だちの話を最後までおちついて聞く	○相手の目を見て、体を向けて話を聞く	○相づちをうつなど相手の話を受け入れた態度で話を聞く 
自転車	○おうちのひとときめたばしよで、あんなのりかたをおぼえる ○がっこうできめられたばしよでのる 	○おうだん歩道では自転車をおりる ○きめられた場所のなかで安全を第一に、まわりの人や小さい子どもにも気をつけた乗り方をする	○中学校の自転車規則をよく理解し安全を第一に、まわりの人や小学生などにも気を配った乗り方をする 	
マナー	○みんなでつかう場所のやくそくやじかん、きまりなどをしっかりとまもる ○ことばのつかいかたにきをつけてはなす	○公共施設利用の約束や時間、きまりを守る ○まわりの人に気を配った言動をする ○時と場合に応じて丁寧な言葉（敬語）を正しく使う		
家庭では	○はやね・はやおきし、朝ごはんをまいにち食べよう ○おうちの人ときめた時間になったら、テレビを消して、まいにち勉強しよう ○おうちの人ときめた時間になったら、テレビを消して、まいにち本をよもう	○規則正しい生活を心がけ、生活のリズムを整えよう ○家庭学習や読書の時には、おうちの人に協力してもらい、テレビを消してパソコンやスマホ・携帯のない環境で取り組もう 		

かていがくしゅう きかん

家庭学習パワーアップ期間

～ 家庭学習を進めるため、夜8時以降の、
ゲーム・スマホ・テレビなどの使用は控えましょう ～

〇月△日 (□) ～〇月△日 (□) まで

特に…中学校のテスト前日…

●月○日 (△) は、 ノーゲーム・ノースマホデイ



児童・生徒の皆さんへ

中学校のテスト期間に合わせ「家庭学習パワーアップ期間」として、ゲーム・スマホ・テレビなどを使う時間を出来るだけ少なくし、家庭学習をしっかり行う取組をします。

午後8時から使わないようにし、家の人に預けたり電源を切ったりするなど、家族の人にも協力してもらいながら、学習に取り組む時間をつくりましょう。



めあて

教室などにはってある『スタンダード』にあるように、
5つの学校の児童・生徒のみんなで・・・

- ① 中学校のテスト期間に合わせて、家庭学習をがんばろう！
- ② 読書の時間や家族と過ごす時間を大切にしよう！

本校の教育課程

教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童生徒の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した教育計画です。

簡単に言えば、各教科の内容をどの時期に何時間くらいかけて教えるか、また行事をどの時期に実施するかなどの計画を指します。教育課程は、毎年4月に編成されます。

学校経営方針について

本校の教育目標やめざす子どもの姿を達成するために、毎年学校長がその年度の学校経営の重点や具体的な教育活動推進項目を示します。

〈学習指導要領における標準時数（1単位時間は45分）〉

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	306	315	245	245	175	175
社会			70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科			90	105	105	105
生活	102	105				
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭					60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35
総合			70	70	70	70
外国語活動			35	35		
外国語					70	70
合計	850	910	980	1015	1015	1015

学習指導要領とは…

文部科学大臣より、国の教育施策の基準として公示されたものです。法的拘束力があります。平成29年度に改訂され、一部先行実施となっていましたが、令和2年度から現在の指導要領による教育が実施されています。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
H31年度までの週時数	25	26	27	28	28	28
R2年度からの週時数	25	26	28	29	29	29

令和2年度から3年生以上の週時数が1時間増えました。

小学校で学習する漢字は
全部で…

1026文字!



本校の日課（時間割）について

本校では、令和4年度より新しい日課表となり、月～金まで同じ時間帯で推移する「生活リズムが作りやすい」日課となりました。

また、北斗市では全小中学校で土曜授業が行われており、実施日や回数は学校によって違いがありますが、それぞれの学校で特色ある授業を計画しています。

上磯小学校では、これまで毎年6回の土曜授業を実施しており、小中で連携した「クリーン作戦」や地域の方々に協力していただいている「地域から学ぼう」など、普段の授業ではなかなか体験できないような楽しい活動ができるように計画しています。（令和7年度からは年2回へ変更する予定）

令和6年度

日 課 表

北斗市立上磯小学校

チャイム	月	火	水	木	金	土曜授業	土曜授業 チャイム
8:20 8:30	児童登校 8:00～8:15						8:20 8:30
	職員朝会 読書・学習	読書・学習	読書・学習	読書・学習	読書・学習	読書・学習	
9:15 9:20	学級朝の会						9:15 9:20
	1	1	1	1	1	1	
10:05 10:10	2	2	2	2	2	2	10:05 10:10
	中休み（20分）					3	
10:25 11:10 11:15	3	3	3	3	3	帰りの会 11:05	10:55
	4	4	4	4	4		
12:00 12:45	給食					委員会 クラブ 日課	委・ク チャイム 12:45
	昼休み（15分）					昼休み （10分）	
13:00 13:45 13:50	5	5	5	5	5	5	12:55 13:40 13:45
	6	6	帰りの会 13:55	6	6	6	
14:35	帰りの会 14:45	帰りの会 14:45	掃除 14:10	帰りの会 14:45	帰りの会 14:45	帰りの会	14:30 14:40
	掃除 15:00	チャレ15 15:00		チャレ15 15:00	掃除 15:00	クラブ 委員会	
※低学年・中学年が5時間で帰る曜日は、午後水曜日の日課と同じ							15:25

【各学年の時数】

	月	火	水	木	金	土曜授業
1年生	5	5	5	5	5	3
2年生	5	5	5	6	5	3
3年生	5	6	5	6	6	3
4～6年生	6	6	5	6	6	3

余剰時数削減のため・・・

- ・1年生は、前期（9月末）まで、月曜日が4時間授業に。
- ・2年生は、運動会が終わるまで、木曜日が5時間授業に。
- ・3年生は、 // 金曜日が5時間授業になります。

道徳の学習について

道徳教育は学校の教育活動全体（学校生活全般）を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うことを目標としています。

その中でも要となるのが、週1時間（年間35時間）実施する「特別の教科 道徳（通称 道徳）」の授業です。授業では「考える道徳」「議論する道徳」「気づく道徳」となるよう授業作りをしています。

「特別の教科 道徳」の内容

	1・2年生	3・4年生	5・6年生
主として自分自身に関すること	・善悪の判断	・善悪の判断	・善悪の判断
	・自律、自由と責任	・自律、自由と責任	・自律、自由と責任
	・正直、誠実	・正直、誠実	・正直、誠実
	・節度、節制	・節度、節制	・節度、節制
	・個性の伸長	・個性の伸長	・個性の伸長
	・希望と勇氣	・希望と勇氣	・希望と勇氣
	・努力と強い意志	・努力と強い意志	・努力と強い意志
			・真理の探究
主として人との関わりに関すること	・親切、思いやり	・親切、思いやり	・親切、思いやり
	・感謝	・感謝	・感謝
	・礼儀	・礼儀	・礼儀
	・友情、信頼	・友情、信頼	・友情、信頼
		・相互理解、寛容	・相互理解、寛容
主として集団や社会との関わりに関すること	・規則の尊重	・規則の尊重	・規則の尊重
	・公正、公平、社会正義	・公正、公平、社会正義	・公正、公平、社会正義
	・勤労、公共の精神	・勤労、公共の精神	・勤労、公共の精神
	・家族愛、家庭生活の充実	・家族愛、家庭生活の充実	・家族愛、家庭生活の充実
	・よりよい学校生活・集団生活の充実	・よりよい学校生活・集団生活の充実	・よりよい学校生活・集団生活の充実
	・伝統と文化の尊重	・伝統と文化の尊重	・伝統と文化の尊重
	・国や郷土を愛する態度	・国や郷土を愛する態度	・国や郷土を愛する態度
	・国際理解、国際親善	・国際理解、国際親善	・国際理解、国際親善
主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	・生命の尊さ	・生命の尊さ	・生命の尊さ
	・自然愛護	・自然愛護	・自然愛護
	・感動、畏敬の念	・感動、畏敬の念	・感動、畏敬の念
			・よりよく生きる喜び

※「特別の教科 道徳」について

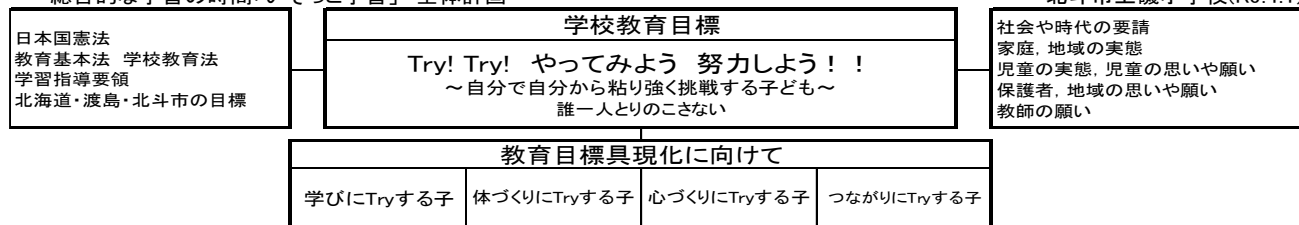
2010年代、「いじめに関する痛ましい事案」が発生し、「特別の教科 道徳」の充実がいじめ防止に向けて大変重要であると当時の文部科学大臣がメッセージを発信しました。

総合的な学習（いそっこ学習）について

「総合的な学習の時間」の名称は、各学校において決めてよいこととなっており、本校では「いそっこ学習」と呼んでいます。活動の内容は、各学年それぞれですが、北斗市教育大綱に掲げられている「SDGs」の理念を意識して教育活動が計画されています。

総合的な学習の時間「いそっこ学習」 全体計画

北斗市上磯小学校(R6.4.1)



総合的な学習の時間の目標	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
--------------	--

総合的な学習の時間「いそっこ学習」で身につけさせたい力									
課題設定の能力			情報活用能力			自己表現の能力			
身近な事象に対して興味・関心を持ち、課題意識を持つことができる。			広く情報を集め、必要な情報を活用して順序立てた論理的な考え方で解決することができる。			各教科等の学びを相互に関連づけ、自分の考えをまとめ効果的に表現し伝えることができる。			
学 年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
目 標		情報の収集の仕方やまとめ方を身に付け、比較したり前後関係をつかんだりしながら筋道を立てて自分の考えを持つと共に活動の中で各教科での学びを生かす力を育成する。		課題の設定の仕方や情報収集の仕方、まとめ方を身に付け、比較したり要因を考えたりしながら筋道を立てて自分の考えを持つと共に活動の中で各教科での学びを生かす力を育成する。		自ら設定した課題を解決するために様々な活動を行い、得た情報から自分なりの考えを持つことを通して、人や物事と自分との関わりを多面的に捉え、各教科等での学びを関係づけ生活の中で生かしていこうとする力を育成する。		これまでの学びを活用して自分の考えを深め、見直しをもって自らの課題を解決することを通して、自らの成長を自覚し自信を持つと共に、よりよい生き方や考え方を目指そうとする力を育成する。	
指導過程		①テーマをもつ ➡ ②調べる ➡ ③テーマをまとめる ➡ ④発信する ➡ ⑤自分を見つめる ・身近な事象から課題を見つける。 ・いろいろな方法を使って課題を追究する。 ・集めた情報を整理し、課題を解決する。 ・学びの成果を発信する。 ・自分自身の成長を見つめ、自信を持つ。							
い そ っ こ 1	学年別課題(時数)	地域(30)	情報(10)	防災(30)	情報(10)	福祉・健康(30)	情報(15)	国際理解(30)	情報(15)
	単元名	地域探検隊 ・名物探し ・名人探し ・謎解き	・キーボード 入力しよう	防災調査隊 ・対策調査 ・ハザード マップ	・文を作ろう	福祉活動隊 ・アイマスク ・車いす体験 ・福祉の仕事	・動く絵本	国際親善隊 ・異文化調査 ・地域と比較 ・国際化発信	・電子新聞
い そ っ こ 2	その他の課題(時数)	○キャリア計画Ⅰ(30) ・教えて！先生!! ・学年課題 ○外国語活動※余剰時数活用			○キャリア計画Ⅱ(30) ・ニッポン発見 ・学年課題 ○外国語活動※余剰時数活用		○キャリア計画Ⅲ(25) ・仲間作りチャレンジ ・学年課題 ○外国語科※余剰時数活用		○キャリア計画Ⅳ(25) ・仲間作りチャレンジ2 ・ありがとうプロジェクト ○外国語科※余剰時数活用
	単元名								

知識・技能の実態をと
もなった理解

見方や考え
方

知識・技能の深
化と日常化

各教科等との関連
<国語> ・目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことについて的確に話す。 ・相手の意図をつかみながら聞く。目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。 ・目的や意図に応じて、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えながら書く。 <社会> ・地域における社会的な事象を観察、調査するとともに地図や各種の具体的な資料を効果的に活用し地域社会の社会的な事象の特色や相互の関連などについて考え、調べたことや考えたことを表現する。 ・社会的資料を具体的に調査するとともに、各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的な事象の意味について広い視野から考えたり、調べたことや考えたことを表現する。 <算数> ・数量や図形についての知識及び技能を身に付け、日常の事象について見直しをもち、筋道を立てて考え表現する。 ・算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。 <理科> ・自然に親しみ、見直しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情をもつ。 ・自然の事象・現象について実感の伴った理解を通して、科学的な見方や考え方ができる。 <音楽> ・音楽を愛好する心情と音楽に対する感性や豊かな情操を養う。 <図画工作> ・感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、創造活動の基礎的な能力を培い豊かな情操を養う。 <家庭> ・日常生活に必要な基礎・基本の知識・技能を身に付け、家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をよりよくしようとする。 <体育> ・誰とでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動する。 <外国語活動・外国語> ・言語や文化についての理解 ・コミュニケーション能力の育成 <特別活動> ・調和のとれた発達と個性の伸長 ・集団の一員としての生活や人間関係の構築 ・自主的な実践的な態度

生活科での学び
【課題解決の仕方】 ・観察する ・調べる ・考える ・工夫する ・教科の学びを使う ↓ 気づき

地域との連携
・学校運営協議会 ・施設・機関 ・地域人材バンク ・町内会等の各種団体
家庭との連携
・支援ボランティア (安全面、作業面等) ・家庭への広報活動

道徳教育の重点
・低学年 【節度、節制】 【友情信頼】 【規則尊重】 ・中学年 【希望と勇気、努力と強い意志】 【友情信頼】 【生命の尊さ】 ・高学年 【善悪の判断、自律、自由と責任】 【友情信頼】 【相互理解、寛容】

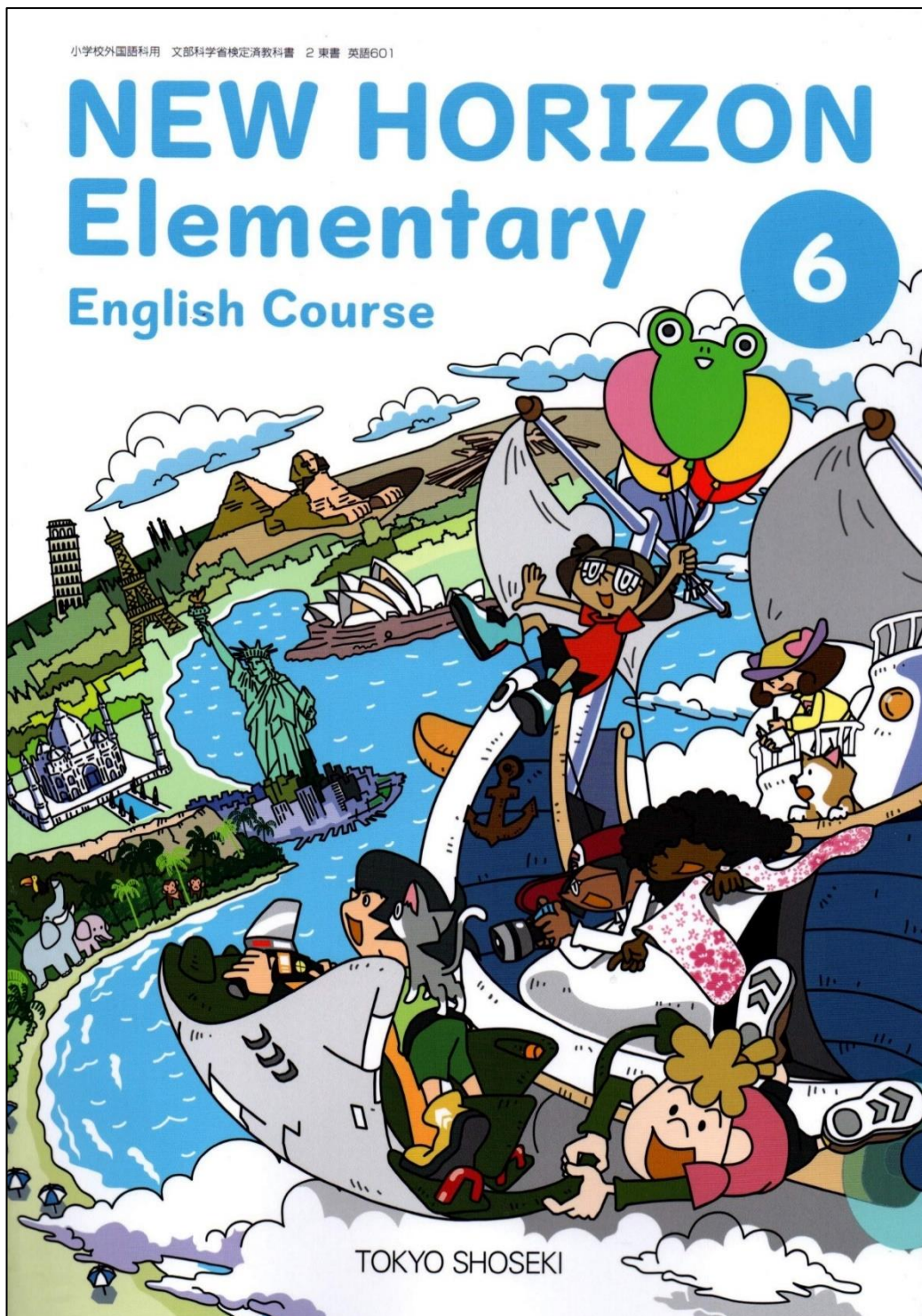
外国語活動・外国語について

《外国語活動》

3・4年生において「聞くこと」「話すこと（やりとりや発表）」を中心とした活動を年間35時間実施。外国語に慣れ親しむこと、日本語と英語の音声の違いに気づくことなど、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を体験的に育成します。

《外国語》

5・6年生において、外国語活動に「読むこと」「書くこと」を加えた、年間70時間の学習が行われます。アルファベット文字や単語などの認識、語順の違い等の文構造への気づきなど、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成します。



北斗市では、令和2年度から実施された現在の学習指導要領に先立ち、平成31年度から現在の授業時数を確保して、外国語の学習に取り組んでいます。

また、現在は3年生～6年生の授業にALT（アシスタントラングエッジティーチャー）が定期的に来校し、担任の先生と共に授業を行っています。



特別活動について

特別活動は、「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」の各内容から構成されています。各内容はそれぞれ独自に目標を持つ教育活動ですが、最終的には特別活動全体の目標を目指して行われています。

学級活動では

学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的態度や健全な生活態度を育てる。



児童会活動では

集団の一員としてよりよい学校づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。



目 標

- ・ 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。
- ・ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- ・ 自主的、実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をより良く形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。



クラブ活動では

個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。



学校行事では

集団への所属感や、連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

学校行事について

全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、特別活動の資質・能力を育成する。

(1) 儀式的行事

- 学校生活の節目・折り目
- 厳粛で清新な気分を味わう
- 新しい生活の展開へ向けて



入学式	4月上旬
1学期始業式	4月上旬
1学期終業式	7月下旬
2学期始業式	8月中旬
2学期終業式	12月下旬
3学期始業式	1月中旬
卒業式	3月中旬
修了式	3月下旬

(2) 文化的行事

- 学習の成果の発表
- 学習意欲の向上
- 文化・芸術に親しむ



1年生を迎える会	4月上旬
演劇鑑賞会	(2年に1回)
学習発表会	10月下旬
6年生を送る会	2月下旬

(3) 健康安全・体育的行事

- 心身の健全な発達や健康の保持推進についての関心
- 安全な行動や規律ある集団行動の体得
- 運動に親しむ態度
- 責任感や連帯感の涵養
- 体力の向上に資する活動



運動会	6月上旬
マラソン記録会	9月下旬

(4) 遠足・集団宿泊的行事

- 平素と異なる環境にあって、見聞を広め、自然や文化に親しむ
- 人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験



春の遠足	5月上旬
修学旅行	6月下旬
宿泊研修	9月上旬
秋の遠足	8月下旬～9月 (学年ごと実施)



(5) 勤労生産・奉仕的行事

- 勤労の尊さや生産の喜びの体得
- 社会奉仕の精神を養う体験

1年生のお世話、教室掃除(6年生)
大掃除(全学年)
運動会や学習発表会の準備・後始末

土曜授業について

北斗市では、全小中学校で土曜授業を実施しています。実施回数は学校によって多少の差はありますが、それぞれの学校で特色ある授業を展開しています。

上磯小学校では、コミュニティースクールのメンバーやPTAの方々にもお手伝いを頂きながら年6回の土曜授業を行っており、普段の授業ではなかなか取り組むことのできない「体験的学習」を多く取り入れてきました。（R7年からは年2回実施の予定）

【令和5年度の実績から】



5月 小中合同クリーン作戦



7月 体力アップチャレンジ



9月 地域と関わろう



10月 道徳・青少年育成大会



11月 地域から学ぼう

（CS 共催事業）



12月 読書ラリー

部活動について（少年団活動との違い）

本校では3年生から吹奏楽部、合唱部、陸上部の3つの部活動に入ることができます。これらの部活動は、学校の教育の一環として行われていますが、学校の教育課程には含まれない活動として、ニーズや環境、指導者の状況に合わせて行っています。

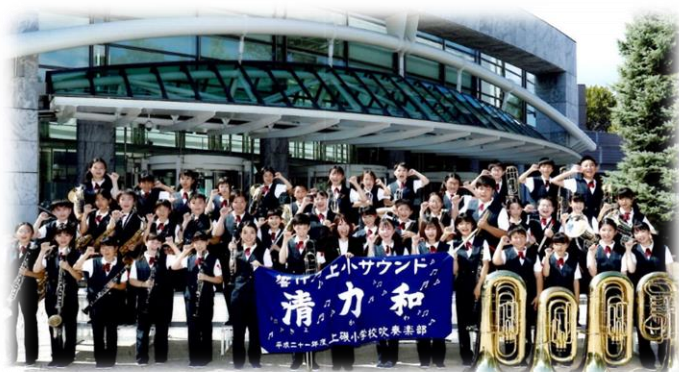
また、近年部活動の指導を学校外の人材にお願いする動きも広まってきており、今後学校と地域が協同で指導したり、地域の人材に全面的に委ねたりする動きが活発になっていくと考えています。

吹奏楽部

創部44年となり、伝統と歴史のある部活動です。先輩達が活躍する上磯中学校吹奏楽部と連携し、共に全国レベルの実力を維持していることが日本中から注目されています。

地域の夏祭りへの参加やデイケアセンターでのミニコンサート実施、地域の海浜清掃などのボランティア活動も行っています。

また、部員が企画するレクなども大盛況です。



合唱部

1年間の主な活動としては、NHKコンクールやHBCコンクールへの出場、デイケア訪問、合唱部コンサート開催などがあります。

コンクール間近の時期は、音程指導など細かい部分まで練習を重ねますが、合唱部として1番大切にしていることは、「楽しく練習する」、「歌が大好きな仲間が集まって活動する」ということです。

部員みんなが和気あいあい笑顔いっぱいの合唱部です。



陸上部（R7から地域移行の予定）

陸上部は、運動することの楽しさや、体を上手に動かすことができた喜び、チームで励まし合うことの大切さを味わわせることを目標に活動しています。

日頃の体力づくりはもちろん、自己記録の更新に励む部員も多く、大会ではその成果の表れとして、全道大会への出場を果たす部員も多くなります。



特別支援教育について

特別支援教育は、従来の特殊教育の対象であった障がいのみならず、学習障害（LD）、注意欠陥/多動性障がい（ADHD）、高機能自閉症等も含めた障がいを持つ児童生徒の自立や社会参加に向けての教育であり、一人ひとりの教育的ニーズを把握してその持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。



学習障がい（LD）

基本的には全般的な知識発達に後れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、とくていのものの習得と使用に著しい困難を感じている状態を示すものである。

学習障がいは、その原因として中枢神経系に何らかの機能障がいがあると推定されるが、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、情緒障がいなどの障がいや環境的な要因が直接の原因となるものではない。（文科省 HP）



一人ひとりの

- ・ 教育的ニーズの把握
- ・ 困り感の共有

注意欠陥/多動性障がい（ADHD）

年齢あるいは発達に釣り合いなな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障がいで、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。（文科省 HP）

高機能自閉症

3歳くらいまでに現れ、他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障がいである自閉症のうち、知的発達に遅れを伴わないものをいう。また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。（文科省 HP）

各関係機関との連携

持てる力を
高める

適切な指導や必要な支援
（特別支援教育）

困難を改善
克服する



ことばとまなびの教室（通級指導教室）について

日常生活や学習をすすめていく上で、「ことば」や「きこえ」の問題のために本来の力を十分に発揮することができない子どもたちに対して、生き生きと自分らしさを発揮できるように支援や指導を行う場所です。

ことばの発達が気になる

ことばが遅れて、どんなこと？

話しことばの発達の程度が年齢に比べて明らかに（おおよそ1年程度）遅れた状態にあるものを“ことばの遅れ”といいます。

- ・語い数が少ない。
- ・ことばを順序立てて話せない。
- ・言いたいことをことばで言い表すことができない。
- ・言われたことを理解できないことが多い。

などがあります。

発音が気になる

発音の問題ってどんなこと？

一つ一つの音がうまく発音できない状態をいいます。

- ・「ヒコーキ」を「イコーキ」、「ラッパ」を「アッパ」と、音の一部を省略する。
- ・「サカナ」を「タカナ」や「チャカナ」と他の音に置き換えて言う。
- ・標準音に近いけれど、違った音のように聞こえる。

などがあります。

ことばとまなびの教室では、お子さんのこのような心配にお応えします！



コミュニケーションがうまくとれない

コミュニケーションの問題って、どんなこと？

コミュニケーションとは、『他の人に情報を伝える能力』です。最近、ことばの問題がなくても人とコミュニケーションがうまくとれない子どもが目立ってきています。

- ・相手の感情を理解することや自分の気持ちを表現することが難しい。
- ・他者とイメージを共有することが難しい。
- ・一方的に話すため、会話にならない。

コミュニケーションが苦手な子どもたちの中には、

読み書きが苦手 行動面が気になる

という子もいます。

聞こえが気になる

耳の聞こえの問題って、どんなこと？

聴力の障害から次のようなことが起こる場合があります。

- ・ことばの発達が遅れる。
- ・声に異常がある。
- ・発音が正しくできない。
- ・音に対して反応が鈍い。

このようなことばの障害は、聴力障害の程度にだいたい比例するといわれています。

吃音がある

吃音って、どんなこと？

人と話そうとすると、なかなかことばが出てこないことがあります。こういう状態を「吃音」といいます。人によって現れ方はいろいろで、例えば次のような場合があります。

- ・「ほ、ほ、ほ、ほくね。」「あの、あの、あの、あのね。」ことばのはじめの音や、ことばを繰り返す。
- ・「……………あのね。」出だしが出にくい。
- ・「ほ—————くがね。」ある音を引き延ばす。
- ・途中で詰まる。

などがあります。

通級による指導とは・・・

日常の生活や学習は在籍する学級で行い、週1時間程度「ことばとまなびの教室」に通って、お子さんの実態に合わせたプログラムに沿って学習を行います。

それぞれのお子さんの状況に応じて指導を進めますので個別指導が基本となりますが、必要な場合にはペアやグループでの指導も行います。



ことばとまなびの教室では、お子さんの「ことば」や「きこえ」についての教育相談を随時行っています。

内容は、1時間程度、遊びを通したお子さんの行動観察、保護者の方との面談です。

希望される方は、学級担任の先生へ伝え、ことばの教室へ直接ご連絡ください。



北斗市立上磯小学校

ことばとまなびの教室

北斗市中野通200番

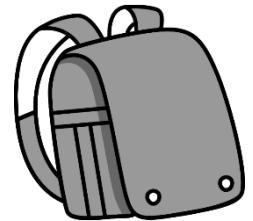
TEL 73-6401
(直通)

学習用具について

本校では、学習等の妨げにならないように、学習用具や持ち物に次のような決まりを設けています。

〔ランドセル〕

- ☆ 基本的に6年間使用します。
- ☆ 給食袋など学校生活に必要なものは横に下げてもいいことになっていますが、飾りやマスコットなど、必要のないものはつけないでください。
- ※ 行事や日課によって、リュックなどで登校する場合があります。



〔筆記用具〕

- ☆ シャープペンシルは禁止です。全学年鉛筆を使用します。
- ☆ 鉛筆は、飾りがついていないもので、できるだけ角のあるものを使います。
 - 1・2年生・・・B または 2B の濃さの鉛筆
 - 3年生以上・・・HB 以上の濃さの鉛筆。
- ☆ 鉛筆が手のひらの横幅よりも短くなったら新しいものと取り替えてください。
- ☆ 赤鉛筆以外の色鉛筆や蛍光ペン、ボールペンなども学年によって使う場合があります。その場合は各学年からお知らせをします。

〔ふで入れ〕

- ☆ 構造が簡単で丈夫なもの。カンのペンケースは避け、机の中に入る大きさのものとします。
- ☆ 必要のない飾りは禁止とします。
- ☆ ふで入れには、鉛筆5本程度（必ず家で削ってきます）、赤鉛筆（学年指定のペン）、消しゴム、定規とします。
- ☆ 学年によっては、のりやハサミ、分度器やネームペン等が入る場合があります。

〔消しゴム〕

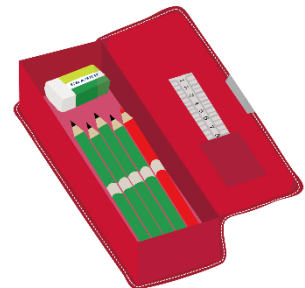
- ☆ 持ちやすくよく消える、四角いものを使います。
- ☆ 「香りがついている物」や「キャラクターの形をした物」は禁止とします。

〔のり〕

- ☆ 基本的に固形スティック状の物を使用します。

〔したじき〕

- ☆ 紙製の物ではなく、プラスチック製の物を使用します。



〔定規〕

- ☆ 透明で目盛がはっきり読み取れるシンプルな物を使用します。
- ☆ 筆入れに収まる長さの物を選んでください。

〔はさみ〕

- ☆ 先がとがっていない、使いやすい物を使用します。
- ※ 左利き用などもあります。



〔上 靴〕

- ☆ 特に指定はありませんが、動きやすく、足に合った運動靴を使います。
- ☆ ひも靴は自分で結んだり、ほどいたりできるようになってから使ってください。
- ☆ 革製品や厚底の物、高価な物は禁止です。
- ☆ 靴底の色は、何色でも構いませんが、光る物や音が鳴る物は禁止です。

〔その他〕

- ☆ 授業の時、基本的に机の上には「鉛筆」、「消しゴム」、「赤鉛筆（ペン）」、「定規」をそろえて置きます。（ふで入れは机の中にしまいます）
- ☆ 新たにノートを購入する場合には、学年指定のマス目の物を購入してください。
- ☆ 体育がある日は運動しやすく、汚れなどに対応できる服装とします。（ジーンズなどのデニム生地のものやスカートなどは避けてください。）

次の物は、必要な学年で指示があってから購入しましょう。

- 定規類・・・・・・・・三角定規（3年生）、分度器（4年生）
- コンパス・・・・・・・・（3年生）
- 鍵盤ハーモニカ・・・・（1年生）
- リコーダー・・・・・・・・（3年生）
- 絵の具セット・・・・・・・・（2年生）
- 習字セット・・・・・・・・（3年生）
- 彫刻刀・・・・・・・・（4年生）
- 裁縫セット・・・・・・・・（5年生）



その他の持ち物

- 名札は学校で新年度に配り、破損した物についても学校で取り替えます。家に持ち帰らず、学校で保管します。
- ハンカチ・ティッシュは必ず持ち歩くようにします。
- エプロンとバンダナは給食準備等に使います。



保護者のみなさまへ

学習用具のルールについては、上中校区で統一し、5つの小中学校で徹底できるように取り組んでいます。学習環境の整備にご協力ください。

- 学用品については、記載した物以外にも様々な物がありますが、「学習に必要なもの」は学校に持ってこない」を基本としています。
- 学用品を購入する際は「学習の妨げにならない物」、「使いやすい物」を選んでください。

通学路について

本校の通学路は大きく分けると下の5コースになります。自宅から最寄りのコースを利用して登下校します。

通学路記入用紙 年 組 番 氏名

〇9月14日(水)までに提出してください。

〇新しい通学路の運用は、信号機設置完了後となります。

登校時

下校時

児ク
放デイ

コース

コース

赤①コース ツルハ ~ 上中・動物病院側

赤②コース ツルハ・コインランドリー ~ 総体

黄コース 上磯駅方面 (鉄道より山側)

緑コース 上磯駅方面 (鉄道より海側)

茶コース セブンイレブン ~ 久根別駅 (鉄道より山側)

青①コース セイコーマート ~ 国道228号線

青②コース セイコーマート ~ 久根別駅

児童クラブ(学童) 左枠内「児ク」に〇をつけてください

放課後デイサービス

①地図の中に、自宅の位置(▲)と、児童の通学ルート(→)を**赤色**で記入してください。

②主に自宅以外に下校される場合は、下校場所(■)と下校ルート(→)を**青色**で記入してください。

※自宅以外の主な下校場所【 宅 】

③兄弟姉妹がいる場合は、個別にご記入のうえ、各担任まで提出してください。

④地図の外(区域外)からの通学の場合は、地図にある部分から(途中から)記入してください。

お子さんを事故から守るために！

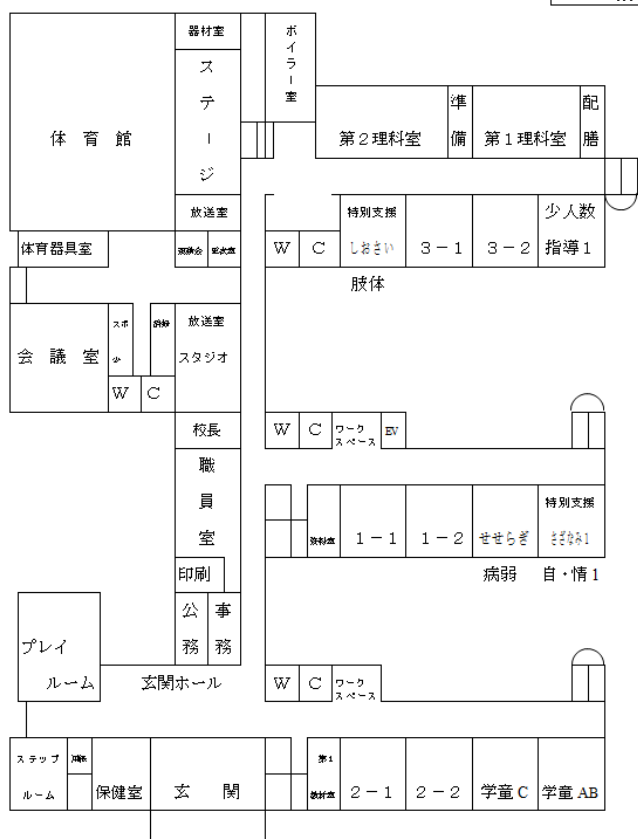
- 登下校時は、学校に届け出ている通学路を必ず通らせるようにしてください。
- 道路の横断、信号の見方、横断歩道では安全確認をすることなど、歩行者としてのルールを教え、しっかりと守れるようにしてください。
 - ・ 右側通行。歩道があるときは歩道を歩くようにします。
 - ・ 縁石などの上は絶対に上らないようにしましょう。
 - ・ 道路からなるべく離れた方を歩きます。
 - ・ 横断歩道の手前でいったん止まり、安全確認をしてから渡りましょう。
 - ・ 自転車で横断歩道を渡るときは、必ず降りて自転車を押して渡ります。
 - ・ 新入学前に何回か登下校の練習をし、危険箇所などチェックしておいてください。
 - ・ 知らない人には絶対について行かないことや、何かあった場合には近くの商店等に助けを求めることなどをご家庭でも指導しておいてください。

校舎について

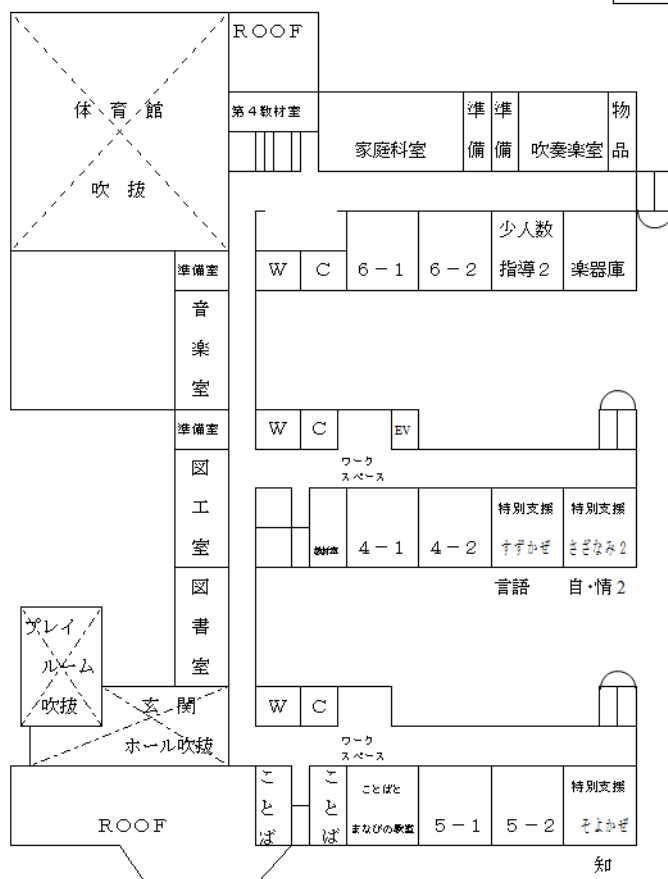
本校の校舎は下の図のようになっています。教室の配置はその年の状況に合わせて行っています。

上磯小学校 校舎見取り図（令和6年度）

1 階



2 階



校舎・施設を利用する場合

学級担任や担当者と通じて教頭へ申し出てください。授業に支障が出ない限り、校内施設を利用することは可能です。

少年団やその他の団体で校舎やグラウンドを利用する場合には、学校長の許可が必要となりますので、代表責任者が学校長へ申し出てください。